

科目名	イベント照明 I		担当講師	鈴木 雅光	
講師実務経験	イベント制作会社勤務				
対象学年	2 学年	対象コース	ライティングコース		授業形態
期 間	後期	総授業回数	11 回	1回あたりの授業時間	
修 得 目 標	基本技術の応用を身につけ、プランニングやデータ作成力及び他セクションとのコミュニケーション力を修得する。				
回数	日程	【授 業 計 画】			
1	10月16日	授業の概要説明。実習に向けて班分け			
2	10月23日	照明 技術確認。4Fでの楽曲オペ確認①			
3	10月30日	照明 技術確認。4Fでの楽曲オペ確認②			
4	11月6日	打合せ。プランニング			
5	11月13日	仕込図、回線表、機材表等、各資料制作			
6	11月27日	シミュレーション①、本番に向け他セクションと修正			
7	12月4日	シミュレーション②、本番に向け他セクションと修正			
8	12月11日	シミュレーション③、本番に向け他セクションと修正			
9	1月22日	本番①			
10	1月29日	本番②			
11	2月5日	本番③			
評価方法	定期試験点数(30%)実技修得度(70%)平常点±10点(出席率、提出物、授業態度・取組状況など) 成績評価方法:B				
評価	上記総合評価点 S(100-90) A(89-80) B(79-60) C(59-50) D(49以下 不可)				
テキスト					
注意事項	66時間中 23時間の欠席で定期試験受験不可=卒業ができません(留年となります)				

科目名	舞台デザイン		担当講師	鈴木 雅光	
講師実務経験	イベント制作会社勤務				
対象学年	2 学年	対象コース	ライティングコース		授業形態
期 間	後期	総授業回数	12 回	1回あたりの授業時間	
					135 分
修 得 目 標	ステージ・舞台設営の基本を学び、舞台デザイン等の知識を修得する。				
回数	日程	【授 業 計 画】			
1	10月10日	授業ガイダンス。舞台用語①			
2	10月17日	舞台用語②			
3	10月24日	舞台機構について			
4	10月31日	劇場の形式と設備について			
5	11月7日	ステージで使用する舞台備品及び材料等について			
6	11月28日	本火と本水による舞台効果について			
7	12月5日	屋内コンサートの舞台について			
8	12月12日	野外コンサートの舞台について			
9	1月23日	特殊効果について			
10	1月30日	コンサートの舞台セットを考える①			
11	2月6日	コンサートの舞台セットを考える②			
12	2月13日	筆記試験対策			
評価方法	定期試験(筆記試験)100%、平常点±10点(出席率、提出物、授業態度・取組状況など) 成績評価方法:A				
評価	上記総合評価点 S(100-90) A(89-80) B(79-60) C(59-50) D(49以下 不可)				
テキスト					
注意事項	36時間中 13時間の欠席で定期試験受験不可=卒業ができません(留年となります)				

科目名	ストリーミング実習		担当講師	竹平 耕一	
講師実務経験	放送局関連会社勤務、照明デザイナー				
対象学年	2 学年	対象コース	ライティング専攻・ビジュアルクリエイト専攻	授業形態	実技
期 間	後期	総授業回数	12 回	1回あたりの授業時間	270 分
修 得 目 標	自らで企画した番組(CM)をビジュアルコースのスタッフと共に制作し、ネット配信する。 生配信・生放送の実体験、セクションを超えた共同作業などを習得する。				
回数	日程	【授 業 計 画】			
1	10月11日	授業ガイダンス(流れ説明、チーム分け、専攻内&組み合わせ) 交換授業			
2	10月18日	企画打合せ、役割分担			
3	10月25日	企画打合せ			
4	11月1日	ロケハン/進行資料等制作/CM・インサート等撮影・編集			
5	11月8日	ロケハン/進行資料等制作/CM・インサート等撮影・編集			
6	11月29日	CM・インサート等撮影・編集/各班 RH調整			
7	12月6日	各班 RH調整			
8	12月13日	各班 RH調整 / 最終打合せ			
9	1月24日	本番 ①班			
10	1月31日	本番 ②班			
11	2月7日	本番 ③班			
12	2月14日	本番 ④合同 (反省会・試験対策)			
評価方法	定期試験点数(30%)実技修得度(70%)平常点±10点(出席率、提出物、授業態度・取組状況など) 成績評価方法:B				
評価	上記総合評価点 S(100-90) A(89-80) B(79-60) C(59-50) D(49以下 不可)				
テキスト	なし				
注意事項	72時間中 25時間の欠席で定期試験受験不可=卒業ができません(留年となります)				

科目名	TV照明Ⅲ		担当講師	竹平 耕一	
講師実務経験	放送局関連会社勤務、照明デザイナー				
対象学年	2 学年	対象コース	ライティングコース		授業形態
期 間	後期	総授業回数	13 回	1回あたりの授業時間	
修 得 目 標	ドラマのスタジオ照明や商品撮影、CM・MV撮影の照明技術を修得する。				
回数	日程	【授 業 計 画】			
1	10月12日	授業ガイダンス / スタジオ照明について / ドラマの台本や実践について			
2	10月19日	ドラマのスタジオで、居間・ダイニング・カウンターのセット明かりについて			
3	10月26日	ドラマのスタジオで、夜の屋外、月光、街路灯、車の明かりなどを作る手法について			
4	11月2日	ドラマのスタジオで、夜の繁華街の路地、ネオン街の明かりを作る手法について 深夜の病院の廊下、手術室前の椅子などの明かりを作る手法について			
5	11月9日	ドラマなどで、雨、雪(紙吹雪)、煙(たばこ)、湯気(やかん)などを見せる技法について			
6	11月30日	商品撮影Ⅰ 食べ物(果物・プリン・パン)、料理などのライティング			
7	12月7日	商品撮影Ⅱ ガラス瓶(ワイン・香水)ペットボトルなどのライティング			
8	12月14日	商品撮影Ⅲ 皮製品(ハンドバック・靴)などのライティング			
9	1月18日	商品撮影Ⅳ 角瓶+グラス、ジオラマ・博多人形など、印象的なライティング			
10	1月25日	CM・VP撮影Ⅰ 商品からイメージしてCMのプランニングをする			
11	2月1日	CM・VP撮影Ⅱ 曲からイメージしてMVのプランニングをする			
12	2月8日	CM・VP撮影Ⅲ 曲からイメージしてMVのプランニングをする			
13	2月15日	後期の総括および試験対策			
評価方法	定期試験点数(30%)実技修得度(70%)平常点±10点(出席率、提出物、授業態度・取組状況など) 成績評価方法:B				
評価	上記総合評価点 S(100-90) A(89-80) B(79-60) C(59-50) D(49以下 不可)				
テキスト	各回授業にてプリント配布				
注意事項	78時間中 27時間の欠席で定期試験受験不可=卒業ができません(留年となります)				

科目名	時事研究		担当講師	山田 佳晴	
講師実務経験	テレビ・放送関連会社勤務				
対象学年	2 学年	対象コース	スタッフ関連科目受講者		講義
期 間	後期	総授業回数	12 回	1回あたりの授業時間	
修 得 目 標	ニュースを日常生活の思考・行動に活用し、成人としての視野を修得する。				
回数	日程	【授 業 計 画】			
1	10月13日	直近のニュースについて⑧			
2	10月20日	直近のニュースについて⑨			
3	10月27日	直近のニュースについて⑩			
4	11月10日	直近のニュースについて⑪			
5	12月1日	直近のニュースについて⑫			
6	12月8日	直近のニュースについて⑬			
7	12月15日	直近のニュースについて⑭			
8	1月19日	直近のニュースについて⑮			
9	1月26日	直近のニュースについて⑯			
10	2月2日	直近のニュースについて⑰			
11	2月9日	直近のニュースについて⑱			
12	2月16日	講義振り返り、試験対策			
評価方法	定期試験(筆記試験)100%、平常点±10点(出席率、提出物、授業態度・取組状況など) 成績評価方法:A				
評価	上記総合評価点 S(100-90) A(89-80) B(79-60) C(59-50) D(49以下 不可)				
テキスト	無し				
注意事項	12時間中5時間の欠席で定期試験受験不可=卒業ができません(留年となります)				

科目名	就職ガイダンス		担当講師	一岡 永	
講師実務経験	音響会社勤務				
対象学年	2 学年	対象コース	就職対象専攻		講義
期 間	後期	総授業回数	12 回	1回あたりの授業時間	45 分
修 得 目 標	社会人としての心構え、必要な知識を修得する。				
回数	日程	【授 業 計 画】			
1	10月13日	新社会人の心得			
2	10月20日	新入社員 仕事の進め方について			
3	10月27日	各種保険、年金、税金の概要			
4	11月10日	名刺交換について			
5	12月1日	仕事の目標設定について			
6	12月8日	業界の仕事の繋がりについて			
7	12月15日	来客対応の基本とコツ			
8	1月19日	上座と下座について			
9	1月26日	職場における電話対応			
10	2月2日	服装のマナー			
11	2月9日	先輩や上司との付き合い方			
12	2月16日	総まとめ			
評価方法	3分の2以上の出席で修得済評価				
評価	評価 修得済				
テキスト	無し				
注意事項	12時間中5時間の欠席で定期試験受験不可=卒業ができません(留年となります)				

科目名	照明プランニング		担当講師	竹平 耕一	
講師実務経験	放送局関連会社勤務、照明デザイナー				
対象学年	2 学年	対象コース	ライティングコース		授業形態
期 間	後期	総授業回数	12 回	1回あたりの授業時間	
修 得 目 標	テレビの音楽(ST・中継)、ドラマ(ST・ロケ)、中継番組等のプランニングを修得する。				
回数	日程	【授 業 計 画】			
1	10月13日	授業ガイダンス。テレビにおける照明プランナーの仕事について			
2	10月20日	音楽番組のスタジオでのプランニング、流れについて。 課題Ⅰ出題			
3	10月27日	課題Ⅰの発表			
4	11月10日	課題Ⅰの解説・評価 音楽番組の中継でのプランニング、流れについて。 課題Ⅱ出題			
5	12月1日	課題Ⅱの発表			
6	12月8日	課題Ⅱの解説・評価 ドラマのスタジオでのプランニング、流れについて。 課題Ⅲ出題			
7	12月15日	課題Ⅲの発表			
8	1月19日	課題Ⅲの解説・評価 ドラマのロケーションでのプランニング、流れについて。 課題Ⅳ出題			
9	1月26日	課題Ⅳの発表			
10	2月2日	課題Ⅳの解説・評価 中継番組でのプランニング、流れについて。 課題Ⅴ出題			
11	2月9日	課題Ⅴの発表			
12	2月16日	課題Ⅴの解説・評価 後期の総括および試験対策			
評価方法	定期試験点数(50%)実技修得度(50%)平常点±10点(出席率、提出物、授業態度・取組状況など) 成績評価方法:B				
評価	上記総合評価点 S(100-90) A(89-80) B(79-60) C(59-50) D(49以下 不可)				
テキスト	各回授業にてプリント配布				
注意事項	36時間中 13時間の欠席で定期試験受験不可=卒業ができません(留年となります)				

科目名	選択 PA実習		担当講師	久本 晃三	
講師実務経験	音響会社勤務				
対象学年	2 学年	対象コース	各専攻		授業形態
期 間	後期	総授業回数	12 回	1回あたりの授業時間	
修 得 目 標	PAの機材、仕事内容を理解し簡易PAシステムの設置&モニターオペレータを修得する。				
回数	日程	【授 業 計 画】			
1	10月10日	オリエンテーション、ケーブル巻き、PA仕事説明			
2	10月17日	PAコンソール(卓)、モニター仕込み図説明			
3	10月24日	仕込み図を見ての仕込み作業			
4	10月31日	仕込み作業試験			
5	11月7日	モニタースピーカー、AUX等の説明			
6	11月28日	エフェクター、AUX等の説明			
7	12月5日	仕込み図をプラスして仕込みの練習(SPX990)			
8	12月12日	モニター送りの基本オペレーション仕込み練習			
9	1月23日	モニター送りの基本オペレーション仕込み練習			
10	1月30日	モニター送りの基本オペレーション仕込み試験			
11	2月6日	モニター送りの基本オペレーション仕込み試験			
12	2月13日	後期試験対策他			
評価方法	定期試験点数(50%)実技修得度(50%)平常点±10点(出席率、提出物、授業態度・取組状況など) 成績評価方法:B				
評価	上記総合評価点 S(100-90) A(89-80) B(79-60) C(59-50) D(49以下 不可)				
テキスト					
注意事項	36時間中 13時間の欠席で定期試験受験不可=卒業ができません(留年となります)				

科目名	2年 REC選択実習		担当講師	金沢琢司	
講師実務経験	レコーディングスタジオ勤務				
対象学年	2 学年	対象コース	REC選択者		授業形態
期 間	後期	総授業回数	12 回	1回あたりの授業時間	
修 得 目 標	スタジオの録音機材・基本システムについての知識を修得する。				
回数	日程	【授 業 計 画】			
1	10月10日	スタジオシステムの概要			
2	10月17日	調整卓の基本1			
3	10月24日	調整卓の基本2			
4	10月31日	マイクロフォン基礎1			
5	11月7日	マイクロフォン基礎2			
6	11月28日	エフェクタ基礎1			
7	12月5日	エフェクタ基礎2			
8	12月12日	ProToolsオペレーション基礎1			
9	1月23日	ProToolsオペレーション基礎2			
10	1月30日	マイクセッティング基礎			
11	2月6日	録音実践1			
12	2月13日	録音実践2			
評価方法	定期試験点数(50%)実技修得度(50%)平常点±10点(出席率、提出物、授業態度・取組状況など)				
	成績評価方法:B				
評価	上記総合評価点 S(100-90) A(89-80) B(79-60) C(59-50) D(49以下 不可)				
テキスト	各回授業にてプリント配布				
注意事項	36時間中 13時間の欠席で定期試験受験不可=卒業ができません(留年となります)				

科目名	カラーコーディネート	担当講師	木村 真祐美
講師実務経験	カラーコーディネーター、カラーセラピスト		
対象学年	2 学年	対象コース	スタッフ系コース
期 間	後期	総授業回数	12 回
			1回あたりの授業時間
修 得 目 標	色の持つ効果を知り、色に関する感性を磨き、仕事に役立つ実践的な色彩知識を修得する。		
回数	日程	【授 業 計 画】	
1	10月10日	授業ガイダンス	
2	10月17日	色彩基礎知識について	
3	10月24日	色の働きと色の見える仕組みについて	
4	10月31日	色の感情作用、知覚的効果について	
5	11月7日	パーソナルカラー(似合う色)について①	
6	11月28日	パーソナルカラー(似合う色)について②	
7	12月5日	色とイメージの関係について①	
8	12月12日	色とイメージの関係について②	
9	1月23日	カラーセラピー(色彩心理)について	
10	1月30日	色彩調和・配色技法について	
11	2月6日	ビジュアルデザインと色彩の関係について	
12	2月13日	定期試験対策	
評価方法	定期試験(筆記試験)100%、平常点±10点(出席率、提出物、授業態度・取組状況など) 成績評価方法:A		
評価	上記総合評価点 S(100-90) A(89-80) B(79-60) C(59-50) D(49以下 不可)		
テキスト			
注意事項	36時間中 13時間の欠席で定期試験受験不可=卒業ができません(留年となります)		

科目名	選択 照明実習		担当講師	鈴木 雅光	
講師実務経験	イベント制作会社勤務				
対象学年	2 学年	対象コース	各専攻		授業形態
期 間	後期	総授業回数	12 回	1回あたりの授業時間	
					135 分
修 得 目 標	舞台照明の基本について修得する。				
回数	日程	【授 業 計 画】			
1	10月10日	照明機材やケーブルについて			
2	10月17日	機材の仕込み方について(点灯するまでの仕組み)			
3	10月24日	配線ケーブルや変換ケーブルを使用する仕込みについて			
4	10月31日	カラーフィルターやフォーカスについて			
5	11月7日	フロア仕込みについて			
6	11月28日	フォーカスの名称について			
7	12月5日	操作卓について			
8	12月12日	ケージの強弱や明りの組み合わせについて			
9	1月23日	復習仕込み			
10	1月30日	応用仕込み			
11	2月6日	実技テスト対策			
12	2月13日	実技テスト、筆記試験対策			
評価方法	定期試験点数(50%)実技修得度(50%)平常点±10点(出席率、提出物、授業態度・取組状況など) 成績評価方法:B				
評価	上記総合評価点 S(100-90) A(89-80) B(79-60) C(59-50) D(49以下 不可)				
テキスト					
注意事項	36時間中 13時間の欠席で定期試験受験不可=卒業ができません(留年となります)				

科目名	動画制作		担当講師	高橋 学	
講師実務経験	映画制作会社取締役				
対象学年	2 学年	対象コース	各専攻		授業形態
期 間	後期	総授業回数	12 回	1回あたりの授業時間	
修 得 目 標	動画制作を通して、映像全般の知識と技術を修得する。				
回数	日程	【授 業 計 画】			
1	10月10日	授業ガイダンス。映像の知識①。			
2	10月17日	映像の知識②。プリプロダクション①。			
3	10月24日	映像の知識③。プリプロダクション②。			
4	10月31日	機材選び。テスト撮影。リハーサル。			
5	11月7日	撮影実習①。			
6	11月28日	撮影実習②。			
7	12月5日	撮影実習③。			
8	12月12日	編集①。基本的な編集の知識。			
9	1月23日	編集②。荒編までの知識。			
10	1月30日	編集③。BGM、効果音の入れ方。			
11	2月6日	編集④。仕上げ。			
12	2月13日	試写、まとめ。			
評価方法	定期試験点数(50%)実技修得度(50%)平常点±10点(出席率、提出物、授業態度・取組状況など) 成績評価方法:B				
評価	上記総合評価点 S(100-90) A(89-80) B(79-60) C(59-50) D(49以下 不可)				
テキスト	なし				
注意事項	36時間中 13時間の欠席で定期試験受験不可=卒業ができません(留年となります)				